

球 日本選手権 飛躍誓う 水 ブルボン KZ男女 壮行会で決意

6日は横浜市で開催する水球の第101回日本選手権大会に出場するブルボンウォーターボロクラブ（ブルボンKZ）の男女チームを激励しようと壮行会が2日、市内西本町3の「まちなち」で行われた。男子は7年ぶりの王座奪還、女子は9年ぶりのメダル獲得に向け、活躍を誓った。



水球の日本選手権に出場するブルボンKZ男女の壮行会＝2日、市内西本町3の「まちなち」

クラブが主催。約200人が参加した。クラブを支援する企業や個人らでつくるサポーターズクラブ会長の小出昭夫・柏崎信用金庫理事長は「男子も女子も決勝進出が期待される。熱い戦いを見せてくれるはずだ」と激励。横井市長も「男女ともに優勝を目指してほしい」と熱いエールを送った。

日本選手権は例年秋に開催されていたが、海外でプレーする選手の日程を考慮して今大会から6月に変更された。男子は2018年以来となる王座返り咲きを見据える。稲場悠介選手ら五輪経験者を中心に充実した戦力だ。女子は昨年、攻撃の要だった小出未来選手が引退した穴を埋めようと、新たに日本代表経験などがある社会人3選手が加入。まずは初戦突破し、4強進出を狙う。

男子の林和希王将(32)は「大差を付けられた昨年の決勝を教訓に、ディフェンス力をチームとして上げてきた。優勝して柏崎に戻ってくる」と抱負。女子の梅村香穂(27)は「新たに選手が加入し、チームの勢いはある。最低でも準決勝に進出、メダル獲得を目指して戦う」と意気込んだ。

が行われる6・7日は市役所で、決勝と3位決定戦がある8日はまちなちで開く。最終日の8日に進んだ場合、女子の3位決定戦が10時、決勝は11時半。男子は3位決定戦が午後2時、決勝が3時半。来場者には応援うちわやバルーンなどを配布する。初日にブルボンKZが姿を消した場合は2日目以降PVは行わない。問い合わせは同室（電話41・4020）。

PVで声援を 6・8日開催

市役所とまちなちから

水球日本選手権に合わせ、大会期間中の6・8日にパブリックビューイング（PV）が市役所（日石町）と、まちなち（西本町3）で開かれる。市水球のまちなち推進室が主催。入場無料。PVは1回戦や準決勝

少子化時代の 地方大の役割

新潟県大副学長
25日に報告会

新潟県大で25日午後3時
～4時半、同大202教室
で研究報告会「少子化時代
に地方小規模大学の生きる
道」が開かれる。

当日は、住吉廣行副学長
が本年度導入した「コース

制」への移行に関する教育
改革の背景と成果をはじめ、
現代の若者の行動様式
に対応した教育手法や課題
解決力を育む授業の取り組
みなどを紹介する。さらに
「座間学民会」連携による
地域貢献の具体例も交え、
地方大学が果たすべき役割
や社会的意義について考え
る。参加無料。申し込み不
要。問い合わせは同大研究
活動支援委員会（電話22・
8435）へ。

水球日本選手権

ブルボンKZ 男子準V

女子4位 地元からPVで声援



水球の第101回日本選手権大会が8日までの3日間、横浜国際プールで行われた。7年ぶりの王座奪還を狙った男子のブルボンウオーターガロクラブ柏崎（ブルボンKZ）は決勝で日本代表を多く擁するIK AI・Kingfisher 74と対戦。9-17で敗れ、2年連続の準優勝だった。女子は3位決定戦で力及ばず、9年ぶりのメダル獲得には届かなかった。地元ではパブリックビューイング（PV）があり、選手らへ声援を送った。

ブルボンKZ男子は1回戦で専修大、準決勝で日本体育大を破って、柏崎開催だった昨年に続き2年連続で決勝に進出。決勝のキングフィッシャー戦では、第1P（前半）から相手の早いパス回しに苦戦し、リードを広げられる展開になった。稲場悠介選手の得点などで食らい付いたが、点差を縮められなかった。女子は1回戦で最終予選でも敗れた稲泳会に逆転勝ちし、5年ぶりに4強に進出した。準決勝ではNSS Uクラブと対戦。第2P以降は互角の展開を見せたが、第1Pの無得点が響いた。3位決定戦はViolestarsに及ばなかった。

ブルボンKZ男子を応援しようと、決勝が行われた8日、かしわさき市民活動センターまちから（西本町3）ではPVが実施され、約130人が後押しした。守護神の棚村克行選手の好セーブや稲場選手の強烈なシュートが入る度に、スティックバールを打ち鳴らして歓声を上げた。ペーシングをつかみきれず、準優勝に終わったが、試合後には会場から健闘をたたえる拍手が送られた。

ブルボンKZ小学生チーム主将の比角小6年・五十嵐丈一郎君は「相手はパス回しが早くてさすがだと思った。難しいシュートを何度も止めていた棚村選手がかっこよかった。いつか自分もブルボンKZの一員で日本選手権の舞台に立ちたい」と話した。

【男子】1回戦IIブルボンKZ 16-9 専修大▽準決勝IIブルボンKZ 19-14 日本体育大▽決勝IIキングフィッシャー 17-9 ブルボンKZ 【女子】1回戦IIブルボンKZ 19-17 稲泳会▽準決勝II NSS Uクラブ 19-15 ブルボンKZ▽3位決定戦II Violestars 17-13 ブルボンKZ

露店軒連ね 家族連れらどつと



本町交差点より大光通りを北へ

[illegible]

14日の初日は土曜とあつて開始早々から多くの家族連れが繰り出した。あいにくの雨に車を濡したり、雨具を着たりして、そぞろ歩きを楽しんだ。今年も健康第一の夏には格別です。

あつて、和歌山の人とは異なつた。酒を飲める人ばかりで、酒を飲むのを引いた行列で歩いていたのを見ると、ありがたうと感謝した。期間中、朱印やお守りなども用意する。

フオンジエストリート

にきた。地元産材を使っているところがいい。食べのにわくわくする」と孫年長兄・愛蔵ちゃんと列輩人だ。

「うまいもん市」におお
舞えしたえんま市限定
「エソのまじ焼き」
日、中興、エゾ前

ルメが勢ぞろいしてお尻を食を通して、柏崎の風変わりなところを知ってもらいたい」と同会議員の山本弘美さん(56)。えんぽ市限定鍋あり、自社のしょう油を使った「エソの炭

が並び、緑日祭分を盛りつけ、
 開闢（えんき）堂には午後
 前10時の開始前から、参拝
 者が訪れた。上座の政経科
 みどりさん（8）は「聖徳太子
 拍毬なので、えん生虫を
 わせて聖徳太子から来た。聖
 徳太子に参拝してから聖徳太
 子に出すのは昔々の習慣だ」と。
 小学5年の真由美（7）も

「相模バナーカー」が人気を集めた。パンズ店には相模湾の魚材を使い、えんま、バーションもお目見え。1店した中央町、料理を店社長の笹川隆幸さん(右)「食を通じて相模の魅力を発信したい」。箸で新橋最古子さんの刀は「友誼」を証し、鯛(たう)「力」を自慢でにえんま

「父親の代から一掃に出
て、今年で3年。今更
に父親、長崎連年の
歴史、名産品が、
には今年が最後」、
村田さん「母
持さん、お前物を
に、メルボルン
使、女が秋に備
する、日本なら
平の、を、」

の抽出で、重慶、高陽が出、随分まきまきペーパーコスター、ボトキと多分貴、初ての、摩大カチ、も替した、野馬、曲中出せ長、の本、本田、んは、些落大と然、ないだけ、参加はめ、を幸しい。子とを、に、地云の人たき

「えんま市は16日までで、
日午前10時〜午後10時
祭日は午後9時〜、新所
方警察台によると、15
日の夕方頃、16日は美
時雨と予報している。



251.

「江戸の芝居小屋は、
相模野郎の『おまへは
ん市』でござんたさう。鶴
（た）は、黒澤が芝居小屋
の素材を運んだケルも
が肝を運んだ。『相模
のケルが勢をいじり、
ルメが勢をいじり、
食を通して、相模の
知ってゐた』と、
会館員の山本弘美さん
（左）。えん市市限定物
あり、自社の『おまへ
を運んだ』『エノの食

「新潟産業大学」 地域に学ぶ 地域をみす

— 実践活動レポート —

学生の視点で 魅力発信

を目的としている。活動が6期目を迎えた本年度は7人の学生がメンバーに任命された。

新潟産業大学には学生広報チームという組織がある。同チームは部活動・サークル、ゼミナールの紹介や学内外で行われる本学が参加するイベントを取材し、学生の視点でキャンパスライフの魅力について受験生を中心とした若年層に向け、SNSで情報発信すること

先日、同チームは柏崎地域振興局が行っている「地域の魅力再発見 発信力強化事業」に参加した。同事業は地域のひとや取り組みを紹介し、地域の魅力を再発見すること、訪問者を増やすことを目的としている。今回は若者の新鮮な視点を取り入れた発信をしたい

というところでお話をいただいた。取材にうかがわせていただいたのは市内安田の阿部酒造株式会社。1804年に柏崎市で創業した酒蔵で、現在製造責任者を務める阿部裕太さんは6代目となる。酒造りを業ししながらも圧倒的なうまさを目指し、常に挑戦を続ける姿勢に学生は取材を通じて刺激を受けた様子。



当日の取材を担当した藤野凛さん（経済経営学科4年）は「伝統を守りつつも、若さと情熱で酒造りに挑戦する姿にとっても感動しました。地域と日本酒文化の未来を垣間見える姿を見て、これからの柏崎に必要な存在だと感じました。記事を読んだ方が阿部酒造のお酒を買ってみたい」と

当日の取材を担当した藤野凛さん（経済経営学科4年）は「伝統を守りつつも、若さと情熱で酒造りに挑戦する姿にとっても感動しました。地域と日本酒文化の未来を垣間見える姿を見て、これからの柏崎に必要な存在だと感じました。記事を読んだ方が阿部酒造のお酒を買ってみたい」と

当日の取材を担当した藤野凛さん（経済経営学科4年）は「伝統を守りつつも、若さと情熱で酒造りに挑戦する姿にとっても感動しました。地域と日本酒文化の未来を垣間見える姿を見て、これからの柏崎に必要な存在だと感じました。記事を読んだ方が阿部酒造のお酒を買ってみたい」と

当日の取材を担当した藤野凛さん（経済経営学科4年）は「伝統を守りつつも、若さと情熱で酒造りに挑戦する姿にとっても感動しました。地域と日本酒文化の未来を垣間見える姿を見て、これからの柏崎に必要な存在だと感じました。記事を読んだ方が阿部酒造のお酒を買ってみたい」と

当日の取材を担当した藤野凛さん（経済経営学科4年）は「伝統を守りつつも、若さと情熱で酒造りに挑戦する姿にとっても感動しました。地域と日本酒文化の未来を垣間見える姿を見て、これからの柏崎に必要な存在だと感じました。記事を読んだ方が阿部酒造のお酒を買ってみたい」と

当日の取材を担当した藤野凛さん（経済経営学科4年）は「伝統を守りつつも、若さと情熱で酒造りに挑戦する姿にとっても感動しました。地域と日本酒文化の未来を垣間見える姿を見て、これからの柏崎に必要な存在だと感じました。記事を読んだ方が阿部酒造のお酒を買ってみたい」と

当日の取材を担当した藤野凛さん（経済経営学科4年）は「伝統を守りつつも、若さと情熱で酒造りに挑戦する姿にとっても感動しました。地域と日本酒文化の未来を垣間見える姿を見て、これからの柏崎に必要な存在だと感じました。記事を読んだ方が阿部酒造のお酒を買ってみたい」と

当日の取材を担当した藤野凛さん（経済経営学科4年）は「伝統を守りつつも、若さと情熱で酒造りに挑戦する姿にとっても感動しました。地域と日本酒文化の未来を垣間見える姿を見て、これからの柏崎に必要な存在だと感じました。記事を読んだ方が阿部酒造のお酒を買ってみたい」と

当日の取材を担当した藤野凛さん（経済経営学科4年）は「伝統を守りつつも、若さと情熱で酒造りに挑戦する姿にとっても感動しました。地域と日本酒文化の未来を垣間見える姿を見て、これからの柏崎に必要な存在だと感じました。記事を読んだ方が阿部酒造のお酒を買ってみたい」と

当日の取材を担当した藤野凛さん（経済経営学科4年）は「伝統を守りつつも、若さと情熱で酒造りに挑戦する姿にとっても感動しました。地域と日本酒文化の未来を垣間見える姿を見て、これからの柏崎に必要な存在だと感じました。記事を読んだ方が阿部酒造のお酒を買ってみたい」と

当日の取材を担当した藤野凛さん（経済経営学科4年）は「伝統を守りつつも、若さと情熱で酒造りに挑戦する姿にとっても感動しました。地域と日本酒文化の未来を垣間見える姿を見て、これからの柏崎に必要な存在だと感じました。記事を読んだ方が阿部酒造のお酒を買ってみたい」と

当日の取材を担当した藤野凛さん（経済経営学科4年）は「伝統を守りつつも、若さと情熱で酒造りに挑戦する姿にとっても感動しました。地域と日本酒文化の未来を垣間見える姿を見て、これからの柏崎に必要な存在だと感じました。記事を読んだ方が阿部酒造のお酒を買ってみたい」と

当日の取材を担当した藤野凛さん（経済経営学科4年）は「伝統を守りつつも、若さと情熱で酒造りに挑戦する姿にとっても感動しました。地域と日本酒文化の未来を垣間見える姿を見て、これからの柏崎に必要な存在だと感じました。記事を読んだ方が阿部酒造のお酒を買ってみたい」と

当日の取材を担当した藤野凛さん（経済経営学科4年）は「伝統を守りつつも、若さと情熱で酒造りに挑戦する姿にとっても感動しました。地域と日本酒文化の未来を垣間見える姿を見て、これからの柏崎に必要な存在だと感じました。記事を読んだ方が阿部酒造のお酒を買ってみたい」と

社会教育士養成へ

10月から 産大ネット「マナガラ」

新潟産大（梅比良典史学長）通信教育課程「ネットの大学 managara」は、地域の課題と向き合い、解決・魅力化へと導く専門家を育成する「社会教育主

事・社会教育士講習」を10月に開講する。講義・演習ともにすべてオンラインで行い、学生・社会人を問わず受講できる。申し込みは7月31日まで。

この講習は、社会教育法および文部科学省の講習等規程に基づいて実施され、複雑な地域課題に他者と協働して取り組む実践力の養成を目指す。定員は50人。修了者に「社会教育士」のほかに、同大独自の「地域共創コンタクト」修了証も発行される。

期間は10月1日から来年3月31日までの半年間。開講科目は「生涯学習概論」「生涯学習支援論」「社会

教育概論」「社会教育演習」（各30時間・2単位）。講義はオンデマンド配信、演習はZoomで行う。受講料は12万円（2科目の場合6万円）。

受講資格は、大学で62単位以上の修得者、教育職員免許取得者、または社会教育関連の職務経験者など。修得済み科目がある場合は、単位認定（科目代替）も可能。申し込みは、専用フォームへの入力と必要書類の郵送の両方が必要。書類審査を経て、8月下旬に受講可否が通知される。問い合わせ・書類送付先は同大通信教育部事務局（〒945-1393、市内経井川4730、電話24・8724、メール sandai.tsushin@ada.nsu.ac.jp）。

産大レクチャー ●●● ア・ラ・カルト

〈210〉

2024年夏以降の米の価格高騰問題は、今年になって政府が備蓄米の放出など対策をとっているにもかかわらず、大きな改善には至っていない。ただし、米価高騰については、今までの安すぎたため、ある程度の上昇は致し方ないとの議論もある。

確かに、昨年夏までの米価では米の生産を継続

するとはできないと考える農家が大半で、深刻な稼働不足問題が長期的な日本の農業市場に横たわっていた。そのような状況の中、急激な価格高騰が起こったのである。

この原因については、23年の異常気象による米の不作による在庫不足が24年に本格的な供給不足につながったとするものや、長年の減反政策の影響が本格化してしまったとするもの、インバウンド需要の増加、転売ヤーによる投機的なお米の流通、さらには消費者の不安心理による買いだめの

米の価格高騰について

には至っていないが、経済学的に、米のような必需品は、一般的な商品に比べて、価格変動が非常に大きくなるということははっきりと言える。初

歩的な経済学の教科書に載っている内容としては、米のような必需品に対する需要曲線の傾きは非常に急になるため、少しの供給の変動で暴落もすれば暴騰もするのである。市場

阿部 雅明

原理のみに供給を任せただけで、市場は不安定化することが明らかになった。海外を求め、主産の農産物は政府によって手厚く保護されているのである。このような観点から、やはり今回の米騒動は政府の対応の失敗ということとは否定できない。しかし、今回の騒動を受け、原因の一つに挙げられる転売対策として、今年6月13日に米穀の転売を規制する政令が公布された。23日から施行され、これに違反した場合、拘

禁刑もしくは100万円以下の罰金が課される。これまでの農産物市場の取引自由化の流れから、小さな一歩ではあるが、政府が対応を変化させたことは評価できる。農産物は長期的な国の安全保障上も絶対にはずさなければならぬ分野である。政府の対応については今後も我々国民が厳しく監視し、安定的供給の後押しをしていく姿勢が重要である。

（敬愛）
〓 毎月1回掲載 〓

オンライン交流
相互理解深める

韓国・井邑と
産大附属

産大附属高（藤井泰昭校長の23年の卒業生5人が、韓国の井邑（チョンウプ）高とオンライン交流を行った。両国の生徒が互いの文化や関心事を共有し、相互理解を深めた。

産大附属高の日本語オンライン交流は今年で2年目。同校は高大連携プログラムの一環として、新潟産大教員による韓国語講座を設けており、昨年9月に梅育メヒヤン女子情報高と交流

今年3月には研修旅行で韓国を訪問した。この時に、井邑の教員が現地ガイドを務めたことをきっかけに、韓国2校目のオンライン交流が実現した。

交流会は20日にあり、両校がそれぞれ動画で学校紹介。生徒たちが一人ずつ自己紹介した。続いての日本語クイズでは、井邑側から韓国の代表的な花も服

「日本一の都道府県の数は」
「日本一長い川の所在地」
などが出題された。

2年・橋本なおみさんは「昨年は多校だったけれど、今回は男子ばかりで盛り上がり方など、画面でも少し緊張した。3年・星野里さんは「昨年

よりもっと交流できたと思う。イイネも多かった」と語った。また7月から、3年生の韓国語講座を教える荒井・新潟産大教授も

同席し、一面を通してだが、時間が足りないくらい盛り上がった。生徒たちの熱中ぶりを喜んだ。

今回は10月に1年生を加えてオンライン交流を予定。新顧問の河内航乃重教諭は「準備期間が2週間ほどしかなく、進行が大変だった。この経験を生かし、次回は念入りに計画を立ててスムーズに行いたい」と話した。



各自のタブレットで韓国の高校生とクイズを出し合う生徒＝産大附属高